

日本股関節財団国内研修報告書

北海道大学

清水 智弘

2018年9月3日から7日まで、日本股関節財団の多大なご支援を受け、国内研修をさせていただきましたので、報告申し上げます。産業医大の塚本学先生と一緒に同行させていただきました。学年が同じで、やってきた研究も似ていたため、共通の話題が多くとても刺激になりました。

9月3日月曜日は京セラ株式会社の工場見学と九州大学東藤先生の講義を受けさせていただきました。整形外科医として工学的な知識は必須なはずなのですが、十分に理解していなかったため大変勉強になりました。また、工場は勿論撮影はできないのですが、人生で一度行けるかどうかという工場見学は非常に勉強になりました。

9月4日火曜日は雨が降りしきる中、江戸川病院で泉田先生の手術を見せていただきました。北海道大学も後方アプローチでやっており、大変なじみのあるものですが、他施設のやり方をみて、大変勉強になりました。

9月5日水曜日は船橋整形外科の老沼先生の手術を中心にさせていただきました。ちょうどアメリカの留学から帰ったばかりだったので、船橋整形外科の手術の入れ替え等は非常にアメリカに似たような印象を受けました。前方アプローチによるTHAをみせていただきました。北海道内でも前方アプローチを行う先生はいますが、Originalをしっかりとみることができて良かったです。

9月6日木曜日は慈恵大学の藤井先生にALSアプローチによるTHAと関節鏡をみせていただきました。苦勞して習熟してきたものを惜しげもなく見せていただき、またグループ内での教育システムなど非常に学ぶものが多かったです。

9月7日金曜日は本来船橋整形外科に行く予定でしたが、北海道で大地震が起こってしまい、急遽帰らざるを得ない状況となりました。まだ震源の中心となった街の復興はまだです。札幌は通常の状態に戻り、なんとなく気が抜けた雰囲気が蔓延しておりますが、今後も何かあった時の備えというのは重要だと感じました。

途中で帰らざるを得なくなった際にも別府先生や泉田先生、股関節財団の皆様にも多大なご高配を頂いたことをこの場を借りて御礼申し上げます。

またこのような素晴らしい企画に参加できたことが今の臨床につながっているという実感があり、改めて感謝申し上げます。

股関節国内研修結果報告書

産業医科大学 整形外科
塚本 学

この度、平成 30 年度 股関節国内研修助成を賜りました産業医科大学 整形外科の塚本学と申します。北海道大学 整形外科の清水智弘先生と一緒に、平成 30 年 9/3 (月) から 9/7 (金) まで、国内の 4 つの施設で研修をさせていただきました。

【研修 1 日目：京セラ株式会社 野洲工場】

『整形外科のための骨のバイオメカニクス解析』の執筆者の一人である、九州大学応用力学研究所の東藤 貢先生に有限要素法 (FEM, finite element method) の基礎から応用まで幅広くお話をさせていただきました。講義内容は以下の通りです (第一部：個体力学の基礎、第二部：動的 FEM の人工股・膝関節解析への応用、第三部：CT-FEM の基礎・CT-FEM の股関節解析への応用・CT-FEM の脊椎解析への応用)。

講義の後は、野洲工場内で、セラミック・金属製品 (股関節ボールやステム) の製造プロセスを初めて拝見させていただきました。一つ一つ精巧かつ丁寧に作られておりましたので大変感銘を受けました。私たちが行っている人工関節手術は、こうした技術者たちの支えがあって成り立っていることを、改めて認識しました。

【研修 2 日目：江戸川病院】

東京都江戸川区にあります江戸川病院にて、慶友人工関節センター長の泉田良一先生執刀の両側人工股関節全置換術 (THA, total hip arthroplasty) の見学をさせていただきました。

両変形性股関節症の方であり、体位は側臥位、アプローチは後側方進入法 (PL, posterolateral approach)、皮膚切開が 10cm 以内 (MIS, minimally invasive surgery) でありながら、軟部組織を傷つけることなく、十分な視野が確保されておりました。また、閉創時には関節包・外旋筋群が綺麗に修復されておりました。

【研修 3・5 日目：船橋整形外科病院】

千葉県船橋市にあります船橋整形外科病院・船橋整形外科クリニックで、老沼和弘先生執刀の THA 12 件を見学させていただきました。筋・腱の切離を必要としない前方進入法 (DAA, direct anterior approach) による非常に鮮やかな手術でした。THA 1 件あたりに要する時間は約 40 分程であり、ほとんど出血していないことに驚きました。また、手術室にいる全ての医療スタッフが手術の流れをよく理解しており、職種間のコミュニケーションが充実した施設でした。

【研修 4 日目：東京慈恵会医科大学】

東京都心部に位置します東京慈恵会医科大学病院にて講師の藤井英紀先生執刀の THA 2 件と股関節鏡 1 件を見学させていただきました。THA は、仰臥位での前側方進入法 (ALS, anterolateral-supine approach) であり、綿密な術前計画に基づいた手術が行われていました。股関節班の医師全員で手術に入り、皆が執刀医や各助手を均等に担当することで、系統立った手術手技を同じように習得

できるとのことでした。非常に教育体制が整っており、今後、後輩たちに指導していく上で、私も参考にさせていただこうと思いました。

最後になりましたが、平成 30 年度 股関節国内研修助成を賜り、誠に有難うございました。大変、貴重な経験をさせていただきました。別府諸兄理事長、関係者各位に厚く御礼申し上げます。今後とも何卒ご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。